

## 富士フイルム

タブレット型超音波画像診断装置「SonoSite iViz(ソノサイト アイビズ)」新発売  
～白衣のポケットに入り、診断しやすい7インチ画面のポータブルサイズ～  
(2016.04.04)

### ●主な特長

#### 1. 優れた携帯性と高精細な画質を実現

本体の重さは、わずか約520gと小型・軽量のタブレットタイプ。小型でありながら7インチの液晶画面を装備しているため、白衣のポケットに入れて持ち運ぶことができる優れた携帯性と診断しやすい画面サイズを両立。また、FUJIFILM SonoSite, Inc.の小型化技術で新開発した画像処理回路により、小型でも140万画素の鮮明で高精細な画像を提供する。

#### 2. 高い操作性で、迅速な検査を実現

片手で保持して親指で操作できるとともに、一般的なタブレットPCと同様にマルチタッチに対応することで、ズームや計測などでも直感的な操作感を実現。いつでもどこでも迅速に検査を進めることができる。

#### 3. 豊富な診断機能で、正確な診断をサポート

Bモード(\*3)に加え、Mモード(\*4)やカラードプラモード(\*5)に対応。また、汎用計測に加え、心臓計測や産科計測にも対応している。搭載カメラで、救急や在宅診療の現場で患者の意識状態や外傷の状況、病状などを静止画や動画で撮影することができ、超音波画像を用いた診断だけでなく、医療の現場で求められるニーズに広く応えることができる。



「SonoSite iViz」は、画面サイズ7インチの本体とセクタプローブで構成



片手で持ちながら親指で操作が可能